

家の中の事故に 気を付けましょう

転ぶ・溺れる事故
→お湯を張ったままにしない、
鍵をかける

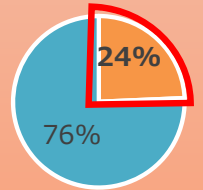
落ちる事故
→手すり・滑り止め・
ベビーゲートの設置

「落ちる」事故が
最も多く、
中でも階段が多い

大人用ベッドから落ちる事故、
ブラインドのひもによる事故
→ベッドガードの設置、
クリップでひもをまとめる

令和2年4月から5月末までに
子どものいる方4人に1人が家の中で事故又
はヒヤリ・ハットの経験あり

消費者庁が行った
インターネットアンケート調査
実施期間：令和2年6月16日～18日
調査対象：全国の20歳以上の男女
(3,109人)



落ちる事故
→台になる物を置かない

ベランダ

発生場所については、
台所、リビング、階段
の順に多く発生

フライパンやケトル、炊飯器での
やけど、切る・刺さる事故
→ベビーゲートの設置、
鍋・フライパン・包丁の置き場

ソファや室内遊具から落ちる事故
→クッションマットを敷く

令和2年度「子どもの事故防止週間」を7月20日から実施します



消費者庁
子どもを事故から守る！
公式Twitter



子ども安全メール
from消費者庁

